

2018JR総連春闘勝利！ シリーズ⑤

2018年度賃金引き上げ夏季手当第3回団体交渉開催 会社は組合員、現場社員の 苦労に応える気なし!?

**ベア一律6,000円実施！昇給乗数4で6,000円支給！
夏季手当3.5ヶ月分支給！割増賃金等諸手当の改善！**

本部は2月28日、「2018年度賃金引き上げ、夏季手当および諸要求の申し入れ」（申第36号）に基づく第3回団体交渉を開催しました。

本日の団体交渉は、ベースアップ、定期昇給、夏季手当、割増賃金や配偶者の扶養手当などその他諸手当について議論しました。

会社は「賃金や労働条件は世間水準よりも相当高いのだから、現時点ベアを出すことや労働条件を改善する理由はない」の一点張りで、組合員はもとより現場社員の苦労を一蹴する姿勢に終始しました。本部は、「連続して最高益を更新しているのは、会社が組合員をはじめとする現場の社員の労働力の価値を正當に評価せず、現場社員の苦労で上げた収益を丸抱えしているからに過ぎない。昨年経営理念を変えた。金も出さずに社員にだけ苦労を求めるのは許せない。正當な労働力の対価を払うべきだ。12年前に始めた新人事賃金制度は社員間の競争を煽り安全を損ねる元凶である。上から目線の評価はやめて、みんなを公平に昇給させるべきだ。割増賃金、諸手当についても今こそ改善するべきである。ベア一律6000円、昇給6000円、夏季手当3.5ヶ月、諸手当の改善についてしっかりと検討し回答せよ」と追求しました。会社は「人材が最大の経営資源」とも言いつつ、本音はリニア建設に向けた財源確保ともとれるような姿勢です。このような姿勢をを許すことなく、本部は最後まであきらめることなく要求満額獲得に向けて闘います。

全組合員のかで要求獲得に向け 職場から奮闘しよう！！

第4回団体交渉は3月5日(月)に開催します。